

ミニ研修

## 今、なぜ「読みの観点」か

H.27.6.29 中原 勇治

### 1. 国語の授業は「つまらない」？

(齋藤氏) 授業を受けても受けなくても大差がないという「やりがいのなさ」が、国語の授業をつまらないものにしてしまっている。

→ 明確な「やりがい」「やった感」を感じられるような授業を行えばいい  
「これができるようになった」と言える明確な国語力が身につく授業をすべき

### 2. どのように授業改善をしていけばよいか？

(桂氏)・「系統指導の充実」が必要

- ・学力調査における授業改善では、「文学の読みの系統指導表」で取り上げたような「指導内容の系統化」が不可欠
- ・B問題は、「読みの技能」「読みの用語」を確実に身につけていれば、簡単に読み解けるものばかり

### 3. 何のために物語を読むのか？

(青木氏) ① 「自力で読書できる子どもを育てる」ため

② 「文学的表現ができる子どもを育てる」ため

③ 物語の世界の「論理」を学ぶため

#### <参考文献>

- ・『学校では教えてくれない日本語の授業』 齋藤孝 PHP
- ・「今こそ、系統指導の充実を！」桂聖（『子どもと創る国語の授業』2014 NO.45 所収）
- ・「物語の授業で育む『言葉の力』」青木伸生（『子どもと創る国語の授業』2014 NO.45 所収）